



令和5年

旧曆

おまたせしました!!

今年はやります!!

◎混雑が予測されますので、お車でのおいではできるだけご遠慮下さい。

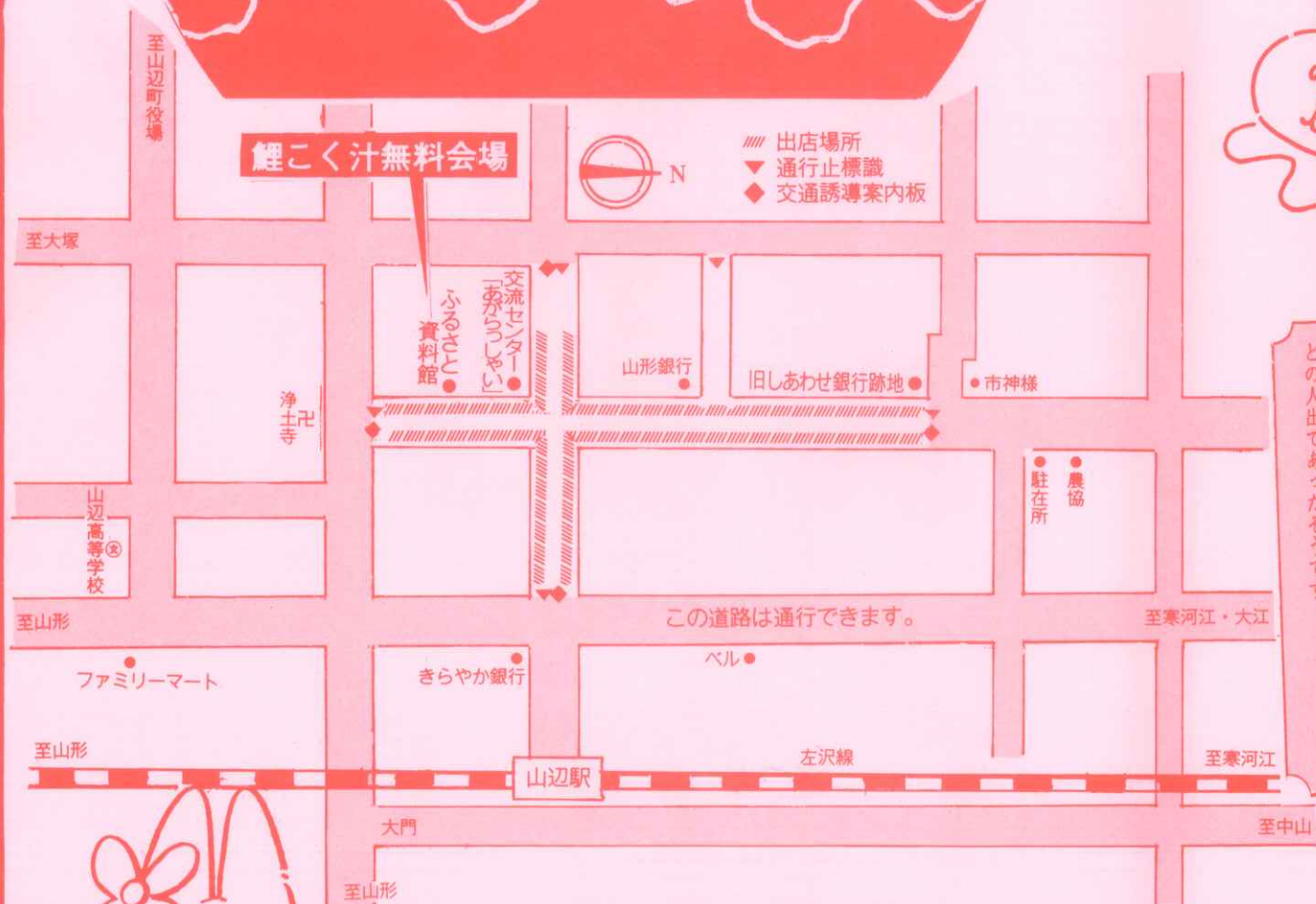
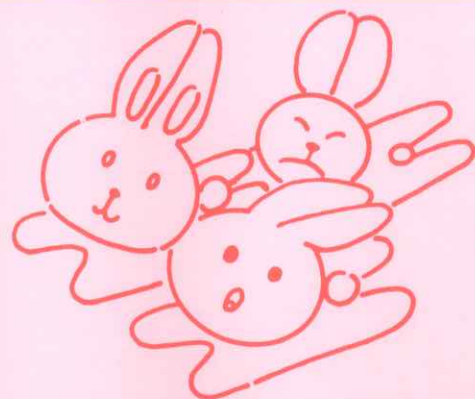
日時 **2月2日(木)** 午前9時30分～午後4時30分まで

＝通行止は午前9時から午後5時まで＝

こいこい 恋鯉の里 さと数に限りがありますので、お早めにおいで下さい。

要害の鯉こく汁

- 午前11時30分サービス開始!!
- 山辺町ふるさと資料館 駐車場



山辺町の初市
 山辺町の初市の起りは江戸時代まで遡ります。慶長六(一六〇一)年、山野辺城主となった山野辺義忠は、山野辺城を中心として近世的な城下町を作り上げました。
 人々の生活を便利にし、城下町を繁栄させるためにいろいろな事業をやっていますが、その一つが「市日」の設定による商業の奨励です。現在の本町から東町にかけての東部の大通りに、二、六、九の付く日に場所をずらしながら北上して、「市」を毎月九回開きまわっているのが記録されています。中心部になる大手町には「市神」を祀り、「市」の安全と繁栄を祈りました。
 山形城主最上義光時代に正月十日に山形で初市を開くようになりました。周辺の山形盆地の村々では重ならないように日を違えて初市の日を設定され、山野辺村では山形より二日遅い市日(十二日)に初市が開かれ、近郷近在から多くの人々が集まって賑わいました。昭和十年ころの記録では、出店数が百三十二店舗を数え、現在の朝日町、白鷹町や天童市等、各地からかなりの商人が参加していました。販売されるのは、野菜・果物が三分の一で、山辺、大寺、血沼、吉野宿、館洗等から、金物・雑貨・古着等は山辺と山形から、呉服物・漆器・着・雑誌等は山形、その他いろいろな品物が並び、町内を通れないほどの人出であったそうです。



- 共催団体 (順不同)
- 本町商店振興会
- 山辺町観光協会
- 協賛
- ふるさと資料館
- ふるさと交流センター「あがらっしゃい」

◎ご来場の際はマスク着用をお願いいたします。



全店お買得盛りだくさん値段もぐ〜んとサービス!!